資料５

施設配置適正化の取り組みの流れ

１ 実態把握（平成２５～２６年度）

①施設の実態把握

◎施設のあり方を考えていくための基礎データとりまとめ
- ■公共施設白書
- ■各施設の利用状況の詳細、老朽化の状況、改修・更新費用の見込み等についての資料

２ 方針策定（基本計画）（平成２５～２６年度）

②施設配置適正化基本計画の策定

- ■施設全体の基本方針（総量縮減、長寿命化、効率化等）
- ■数値目標
- ■施設種別ごとの方向性（統合、複合化、長寿命化、運営体制の見直し等）

【１４施設】
- ■方針策定と並行して、施設配置適正化手法の検討を開始

３ 実行計画の策定・実施

③施設配置適正化実行計画の策定（平成２７～２８年度）

- ■各施設の具体的な施設配置適正化手法（複合化、集約化、廃止等）
- ■スケジュール

【１４施設】
- ■実施可能なものは、実行計画の策定に先行して、施設配置の適正化に着手

④施設配置の適正化の実施（平成２９年度～）

◎実行計画に基づき施設配置の適正化に着手

４ 評価・改善（平成２９年度～）

⑤評価・改善

◎計画で定める目標等の達成状況を検証、評価し、計画の見直しに反映させ、施設やサービスを改善・改革